

ヘリコクター・ピロリ菌の検査法について

富山労災病院 中央検査部

ひらさわ ひろし
平沢 博

先月のろうさい病院だよりで、ヘリコクター・ピロリ菌（以下ピロリ菌）についての話題がありました。今回、中央検査部のコーナーで、ピロリ菌についての詳細と検査方法についてのお話をしたいと思います。

昔から胃の中は強い酸性に保たれているため、細菌は生きていくことができないと言われていました。ところが、1983年にオーストラリアのロビン・ウォーレン教授とバリー・マーシャル教授が、「ピロリ菌」を発見し、培養法も確立することができました。そしてその功績によって2005年のノーベル医学生理学賞を受賞されました。

ヘリコとは、「らせん・旋回」という意味で、ヘリコプターのヘリコと同じです。バクターとは、バクテリア（細菌）で、ピロリとは胃の出口（幽門部）をさす「ピロルス」からきています。この菌は胃の幽門部から初めて見つかりました。



大きさは直径約0.5マイクロメートル、長さ2.5から5.0マイクロメートルで、数本のべん毛を持ち、胃の中を移動します。ピロリ菌が胃の中で生きていけるのは、胃の中にある尿素をアンモニアと二酸化炭素に分解し、アンモニアで胃酸を中和することによって胃へ定着（感染）できるからです。

では、実際に当院で行われている検査方法を紹介いたします。ピロリ菌の検査法には、大きく分けて内視鏡を使う方法と使わない方法の2通りがあります。

「内視鏡を使う方法」

胃カメラを使い胃炎・潰瘍などや、他の病気があるかどうかを調べると同時に、粘膜組織を採取し調べる方法です。

1. 迅速ウレアーゼ試験

ピロリ菌が持っているウレアーゼという酵素の活性を利用して調べる方法です。

採取した粘膜組織を専用の反応液に付けて、色の変化でピロリ菌の有無を調べます。

2. 組織鏡検法

粘膜組織に特殊な染色をして顕微鏡で探す診断法です。

「内視鏡を使わない方法」

胃カメラを使わないで済むため、負担の少ない検査です。

1. 尿素呼気試験

尿素を含んだ検査試薬を使って、服用前と服用後20分後の呼気を検査用の袋に吹き込み、その呼気に含まれる二酸化炭素の量を比較する検査方法です。簡単で精度の高い検査法です。

2. 血中抗体検査

ピロリ菌に感染すると、人は抗体を作ります。その抗体が血液中にあるかどうかを調べる方法です。

それぞれの検査法には長所や短所があるので、その特長を活かし患者さんに適した検査法が選択されています。胃や十二指腸潰瘍の経験があり再発をくりかえす方、胃がん家系でご心配の方や、なんとなくいつも胃の具合が悪い方などは、検査を受けることをおすすめします。医師にご相談ください。ピロリ菌を退治し、胃潰瘍、十二指腸潰瘍、胃がんを予防していきましょう。